

剣道競技

- 1 日時 令和4年8月7日(日)
競技別開会式 9:00 (伊仙町総合体育館)
競技開始 9:30 (伊仙町総合体育館)
- 2 会場 伊仙町総合体育館
- 3 チーム編成 各単位団は、下記によりチーム編成をする。
 - (1) 団体戦 (小学生とし、単位団から1チームとする。ただし、男子または女子がない単位団は、同一市町村内の他団から出場できる。)
 - ア 指導者 1名 (監督兼務)
 - イ 選手 5名
 - ウ 補欠 3名 (男女を問わない)

(チーム編成)

区分	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	監督 (引率指導者)
学年	4年生以下	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	有資格指導者
性別	男または女	女	男	女	男	男または女

- (2) 個人戦 (中学生とし、単位団から複数出場できる。)
 - ア 指導者 1名 (監督兼務)
 - イ 選手 学年を問わず、参加者数は自由とする。
- 4 競技上の規定及び方法
 - (1) 小学校団体戦と中学校個人戦に分けて実施する。
 - (2) 競技は原則として、全日本剣道連盟試合・審判規則および大島地区大会申し合わせ事項に基づいて行う。
※ コロナ過での暫定的な試合審判法に基づいて行う (詳細は別紙資料1)

【小学校団体戦】

 - (1) 試合時間は3分の3本勝負とし、勝負がつかない場合は引き分けとする。
 - (2) 予選リーグにおける引き分けの際は、その都度勝負を決定せずにそのリーグ終了後、下記順で勝敗を決め、または代表戦を行う。
 - ア チームの勝ち点による。(勝ち1点、分0.5点)
 - イ 勝者数による
 - ウ 総本数による
 - エ 上記ア～ウまでで順位が決定しない場合は、代表者戦によるリーグ順位決定戦を以下の要領で行い、当該リーグの順位を決定する。
※ 代表者戦の出場者は、中堅、副将、大将とし、抽選により出場選手を決める。
※ 試合時間は3分の1本勝負とし、試合時間内に勝負が決しない場合は、2分刻みで延長戦を行い、延長3回で面を外して3分間の休息を入れる。その後は主審判断で選手体調を考慮し休息を入れる。

- (3) 決勝トーナメントにおいてのチームの勝敗は勝者数法によって決する。勝者数、総本数ともに同数の場合は代表者戦を行う。代表者戦の出場者は、中堅、副将、大将とし、抽選により出場選手を決める。試合時間は3分の1本勝負とし、試合時間内に勝負が決しない場合は、2分刻みで延長戦を行い、延長3回で面を外し3分間の休息を入れる。その後は主審判断で選手体調を考慮し休息を入れる。
- (4) 申込み後のオーダー変更は認めない。ただし、出場選手に事故のあるときは、競技委員長の許可を得て、その位置に該当する補欠を起用することができる。

【中学校個人戦】

- (1) 試合は原則としてトーナメント法とする。参加人数によっては、予選リーグ法、総当たり法とする。試合方法が下記の要領で決定する。
 - ア 参加申込み後の参加人数で決定する。
 - イ 参加人数が7名以上の場合はトーナメント法、6名の場合は予選リーグ法、5名以下の場合は総当たり法とする。
- (2) 申込み後の棄権は2本負けとし、どの試合方法にも適用される。
- (3) トーナメント法の試合時間は3分の3本勝負とし、試合時間内に勝負が決しない場合2分刻みで延長戦を行い、延長3回で面を外し3分間の休息を入れ、その後は主審判断で選手体調を考慮し休息を入れる。
- (4) 予選リーグ法、総当たり法の試合時間は3分の3本勝負とする。引き分けの際は、その都度勝負を決定せずにそのリーグ終了後、下記の順で勝敗及び順位決定戦を行う。
 - ア 勝ち点による。(勝ち1点、分0.5点)
 - イ 総本数による。
 - ウ 上記ア～イまでで順位が決定しない場合は、順位決定戦を以下の要領で行い当該リーグの順位を決定する。
 - ※ 試合時間は3分の1本勝負とし、試合時間内に勝負が決しない場合は、2分刻みで延長戦を行い、延長3回で面を外し3分間の休息を入れ、その後主審判断で選手体調を考慮し休息を入れる。
- (5) 当日の棄権等で予定していたトーナメント法、予選リーグ法が実施できない場合は、監督会議で提案し承認された後に総当たり法になりうる。

5 申込締切 令和4年7月1日(金)

6 その他

- 本大会は、県スポーツ少年団協議別交歓大会の予選を兼ねる。